

Certification Handbook

The IIBA® guide to gaining the CCBA® designation

CCBA®ハンドブック

2016年3月30日

※ IIBA®日本支部からのご注意

- 本書は、IIBAの本部のWebサイトからダウンロードできる“CCBA® Handbook”（2016年3月30日版）を、本部の許可を得てIIBA日本支部が翻訳した参考訳です。本部のWebサイトの情報は予告なく変更されることがありますので、最新情報は必ず本部のWebサイトで確認してください。
- 本文書では、以下のように表記しています。
 - CCBA®認定 (CCBA® certification) : 出願書類審査とCCBA®試験の両方を表す。
 - CCBA®試験 (CCBA® examination) : 出願書類審査をパスした後の試験のみを表す。

目次

目次	2
1.0 当ハンドブックについて.....	3
2.0 公平かつ公正のポリシー.....	3
3.0 IIBA の <i>BABOK</i> ® ガイドの概要.....	3
4.0 CCBA®認定について.....	3
4.1 CCBA®認定とは	4
4.2 CCBA®認定プログラムの概要.....	4
4.3 CCBA®認定のメリット.....	4
5.0 CCBA®認定の資格要件	6
5.1 業務経験要件.....	6
5.2 知識エリア要件.....	9
5.3 学歴要件.....	10
5.4 専門能力開発要件.....	10
5.5 推薦状要件.....	11
6.0 CCBA®の出願と試験の流れ	11
6.1 ステップ 1：CCBA®認定に出願し、出願料を支払う	12
6.2 ステップ 2：受験料を支払う	14
6.3 ステップ 3：受験登録を行う	15
6.4 ステップ 4：試験の準備をする	15
6.5 ステップ 5：試験を受ける	16
7.0 CCBA®認定の授与	19
8.0 CCBA®試験の再受験.....	20
9.0 CCBA®認定の維持と資格更新.....	20
10.0 CCBA®認定の停止または取消し.....	21
11.0 応募者と CCBA®資格保有者の情報に対する監査.....	21
12.0 異議申し立ておよび苦情への対応	21

1.0 当ハンドブックについて

当ハンドブックの目的は、International Institute of Business Analysis（以下、IIBA®）の Certification of Competency in Business Analysis™（以下、CCBA®）認定プロセスを理解するために必要な情報を、CCBA®認定の応募者および受験者に提供することです。

2.0 公平かつ公正のポリシー

IIBAは、認定と審査の実施・監視・評価・保守を、公平かつ公正に行うポリシーとプロセスを定めています。IIBAは、米国障害者差別禁止法を含むすべての適用法規制を順守しています。

3.0 IIBAのBABOK®ガイドの概要

BABOK®ガイドは、ビジネスアナリシスという職業の専門性に含まれる知識を集大成したものです。ここでは、今日広く認知されているプラクティスが反映されています。BABOK®ガイドを定義して、さらに拡張するのは、それを日々の業務で活用しているビジネスアナリシスの専門家の方々です。BABOK®ガイドは、ビジネスアナリシスの知識エリアと、それに関連するアクティビティとタスク、さらに、それを有効活用するために必要なスキルを記述しています。

BABOK®ガイドは、日々成長し、進化しています。したがって、各リリースは完全な知識体系に一步ずつ近づくものであると考えてください。フィードバックを受け、一般に認知されているプラクティスの変化に応じて、定期的に拡張していきます。ビジネスアナリシスに関する特定のテクニックをBABOK®ガイドで言及する際は、そのテクニックが実証されているか、一般的に受け入れられているか、広く使われているか、などを基準として採用します。こうして作成されたBABOK®ガイドは、ビジネスアナリシスの専門知識の参考資料であると同時に、CCBA®認定の基礎となるものです。

注意：現在の出題はBABOK®ガイド v2.0に準拠した内容になっています。

4.0 CCBA®認定について

4.1 CCBA®認定とは

専門性の認定には多くの定義がありますが、一般的には、認定機関が個人の知識、経験、スキル、専門知識を承認することです。

所定のスキルや知識をもつこと実証して能力を証明し、それが公式に承認されると、認定されたこととなります。

CCBA®認定プロセスでは、ビジネスアナリシスの資格保有者となるために必要な経験、知識、能力を、IIBAが指定する資格要件として提示しています。

4.2 CCBA®認定プログラムの概要

CCBA®資格保有者とは、ビジネスアナリシスのキャリアを積んだことを認められた人です。CCBA®資格保有者の専門的業務には次のようなものがあります。

- ビジネスアナリシス
- システムアナリシス
- 要求アナリシスおよび要求マネジメント
- プロセス管理
- コンサルティング

CCBA®認定プログラムは、個人の能力認定の規格であるISO 17024に整合するように設計しました。当プログラムも、ISO 17024の認証を取得する予定です。

応募者においては、出願プロセスは受験のための予備審査プロセスであることをご承知おきください。すなわち応募者は、出願要件およびBABOK®ガイドを十分に理解し、当ハンドブックでこのあと説明する出願プロセスに精通する必要があります。

CCBA®認定は、基本的なビジネスアナリシスのスキルがあり、一定の経験をもつビジネスアナリストを対象としています。現在、CCBA®試験は英語と日本語で実施していますが、将来は他の言語にも対応する予定です。

CCBA®認定を受けようとする応募者は、IIBAの会員である必要はありません。ただし、IIBA会員であれば受験料の割引が受けられます。

4.3 CCBA®認定のメリット

CCBA®認定を取得する個人には、次のようなメリットがあります。

- ビジネスアナリシスの原則と実践における専門能力が得られる。

- 認められた専門家のグループに参加できる。
- 専門家の仲間や経営陣から専門的な能力を認められる。
- ビジネスアナリシスの専門的な実践者として認められることにより、さらなるキャリア向上の道を開くことができる。
- ビジネスアナリシスのキャリアにおける重要な節目を築き、個人として満足感を得られる。
- 業務全体のパフォーマンスを高め、不確実な取り組みをなくし、市場機会を大きくする。
- 認定の取得および維持の過程で、自分の活動の質と精度を高めていくことができる。
- ビジネスアナリシスの熟練した専門家として公式に認定されることで、所得の増加を獲得しやすい。詳細については、[Salary Survey](#)を参照。
- ビジネスアナリシスのキャリアを培ってきたことを認められ、さらに研鑽を積むように支援される。
- ビジネスアナリシス・コミュニティにおいて、有力なメンバーとして必要なスキルをもつことを提示できる。

CCBA®資格保有者を雇用する組織には、次のようなメリットがあります。

- 能力向上とその認定の機会を社員に提供できる。
- 顧客、競合他社、社員、投資家に、業界標準のビジネスアナリシスを実践していることを明示できる。
- ステークホルダーに対して、ビジネスが効果的に運営されていることを明示できる。
- 定期的な審査プロセスによって、社員の責任感、意欲、モチベーションを高揚できる。
- 専門知識とスキルがあると認められた個人が、**BABOK®**ガイドの示すビジネスアナリシスのプラクティスを確立し、実際に行う。
- 業界標準のテクニックを駆使するビジネスアナリシスの専門家によって、高い効率と一貫性のもとで、より高い信頼性と品質を備えた成果を得られる。
- クライアントやビジネスパートナーに能力のあるビジネスアナリストを紹介できる。
- ビジネスアナリストの専門能力を育成し、認定の機会を与えることができる。
- 成功するプロジェクトに欠かせない要素として評価を高めつつあるビジネスアナリシスという分野に熱心に取り組んでいる姿勢を明示できる。

5.0 CCBA®認定の資格要件

CCBA®認定に出願するには、応募者は本章で述べる資格要件を満たさなければなりません。

具体的な資格要件は次のとおりです。

- 過去7年以内に、BABOK®ガイドで定義されるビジネスアナリシスの業務に3,750時間以上従事した経験がある。
- 6つの知識エリアのうち、2つの知識エリアにおいてそれぞれ900時間以上、または4つの知識エリアにおいてそれぞれ500時間以上従事した経験がある。
- 過去4年間で21時間以上をビジネスアナリシスの専門能力開発に充てている。
- 応募者の上司、クライアント、またはCBAP®資格保有者のいずれかによる2通の推薦状がある。
- 行動規範に同意の署名をしている。

5.1 業務経験要件

過去7年以内に、BABOK®ガイドで定義されている知識エリアおよび基礎コンピテンシに沿ったビジネスアナリシスの業務に3,750時間（2～3年）従事した経験があること。


過去7年とは、出願日から遡って数えた年数とします。ビジネスアナリシスの業務経験とは、応募者が直接実施した活動、あるいは、他者の実施を支援した活動であり、BABOK®ガイドの知識エリアおよび基礎コンピテンシに沿った活動でなければなりません。

次の活動は、要件として認められます。

- ビジネスアナリシスの実践（例：要求の収集、要求文書の作成など）
- ビジネスアナリストに対する指導で、ビジネスアナリシス活動に関するもの（例：ビジネスアナリストとともに実施した要求収集プロセスの計画、要求文書のレビューなど）

次の活動は、要件として認められません。

- ビジネスアナリシスの活動を直接に監督しない管理（例：リソース管理、進捗報告、パフォーマンス管理など）
- ビジネスアナリシスの教育・研修コースの講師
- 要求のツールやソフトウェアの販売
- プロジェクトマネジメント
- テスト（例：テストスクリプトの作成や実行、テストの進捗報告、テスト方針・テスト計画の作成など）
- プログラミング



上記は、すべてを列挙したものではなく、あくまでもガイドラインとして示したものです。

次に示した表は、出願審査プロセスにおいてビジネスアナリストの業務経験要件を満たすと認められるものと、認められないものの例です。ここに示したものがすべてではありません。出願書類に業務経験を記入する際の注意事項は、本表の次のページをご覧ください。

BABOK®ガイド v2.0の知識エリア	要件を満たす業務経験	要件を満たさない業務経験
ビジネスアナリシスの計画とモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ● 要求計画の作成とプロジェクト計画への組み入れ ● 要求リスクの識別と文書化 ● プロジェクトの進捗報告に対するインプットとなる要求進捗報告の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト計画の作成 ● プロジェクトのリスクの識別
引き出し	<ul style="list-style-type: none"> ● 要求収集ワークショップのファシリテーション 	
要求のマネジメントとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 要求パッケージのウォークスルーとサインオフ ● 役員に対する要求のプレゼンテーションの準備と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト週次報告の作成
エンタープライズアナリシス	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネス目的の決定 ● ビジネスアーキテクチャの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト憲章の作成 ● システムアーキテクチャやアプリケーションアーキテクチャの構築
要求アナリシス	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能要求 ● 非機能要求 ● ユーザー要求 	<ul style="list-style-type: none"> ● SLA（サービスレベル・アグリーメント）の作成 ● ソリューション設計と文書化
ソリューションの アセスメントと 妥当性確認	<ul style="list-style-type: none"> ● 設計文書のレビュー、および要求との整合性の確認 ● テスト方針と、テスト計画、テストケースのレビュー、および要求との整合性の確認 ● 品質保証とテストチームの支援 ● 欠陥のレビュー、およびクライアントとの共同作業による以下の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 修正の優先順位 ・ 手作業による回避策の採用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設計文書の作成 ● テスト方針、テスト計画、テストケースの作成 ● テストの実行 ● 欠陥の追跡とマネジメント

業務経験を記入する際の注意事項

オンライン出願において業務経験要件は次のように記入します。

- 業務項目は、可能であれば、最新の業務を一番上にして、日付の新しい順に並べる。
- 類似した業務はひとつの業務項目としてひとまとめにすることができる。
- 過去7年以内の、少なくとも3,750時間のビジネスアナリシスに関連する業務を、受験資格要件を満たすように記述する。
- 履歴書は、業務経験要件としては認めない。
- 各知識エリアに記載されたタスクの一覧を参照し、業務項目ごとにBABOK®ガイド v2.0に沿って完了したタスクを選択する。6つの知識エリアのそれぞれについてこれを実施する。ただしタスクとして選択してよいのは、自身でタスクを実行した場合、あるいはタスクの実行に際して他のビジネスナリストを指導または助言した場合に限る。各知識エリアについて、選択したビジネスアナリシスのタスクに費やした時間を示す。
- 業務項目ごとに、各知識エリアで費やした時間を合計してビジネスアナリシスの業務経験時間を決定する。さらにその業務項目ごとの時間を合計し、ビジネスアナリシスの業務経験時間を求める。そしてこの時間が3,750時間以上の要件を満たしていることを確認する。

注意： 選択したタスクが、BABOK®ガイド v2.0に沿ったものではない場合、その旨を知らせるメッセージが表示される。その際には、業務項目をもう一度見直して、BABOK®ガイド v2.0に沿った業務経験のみが確実に含まれるように、選択したタスクおよびそれに相当する時間を修正する必要がある。

5.2 知識エリア要件

BABOK®ガイドの6つの知識エリアのうち2つの知識エリアでそれぞれ900時間以上、または6つの知識エリアのうち4つの知識エリアでそれぞれ500時間以上のビジネスアナリシスの業務経験が必要です。

注意： この時間は、上記の業務経験要件で求められる3,750時間以上の中に含まれません。この要件によって、知識エリアをまたがる幅広い業務経験を持つことを確認します。

5.3 学歴要件

高校卒業以上、またはそれと同等以上の資格を保持すること。

注意：高等学校以降の学歴に対して、業務経験の年数を減らすことはありません。

5.4 専門能力開発要件

過去4年間で21時間以上のビジネスアナリシスの専門能力開発をしていること。専門能力開発は、出願日までに完了している必要があります。さらに、以下の基準を満たすものでなければ認められません。

1. 専門能力教育は、正式な大学コースと同様にモデレートまたはファシリテートされていなければならない（つまりそのセッションには、モデレータ、あるいはその教材を通してグループや個人を主導できるファシリテータまたはインストラクタが必要である）。
2. 測定可能な学習目標が必要である。またこれらは（振る舞いを変えたり、スキルを向上させたりする点で）ビジネスアナリストの役割に直接適用できるものでなければならない。
3. 特定のテーマに関する単なるプレゼンテーションであってはならない。
 - a. 受講生には、その題材と向き合う機会（質問できる、学習を意味のあるものにするなど）が必要である。
 - b. a.に加えて、そこで紹介するタスクや目標を実践する機会が必要であり、またそれをファシリテータ/モデレータに評価されなければならない
4. 対象分野は、**BABOK**®ガイドに示すビジネスアナリシスやその基礎コンピテンシと直接関係するものでなければならない。

注意：IIBAの認定教育プロバイダ（Endorsed Education Provider: EEP™）が提供するプログラムなどのIIBA認定コースは、上記の基準を満たすことが事前に確認されていますので、認定に必要なビジネスアナリシスの専門能力開発要件を満たすために必要な21時間に充当できます。

授業や参加時間の1時間が、専門能力開発の1時間に相当します。専門能力開発の時間の端数は、1時間単位の数の後に15分単位で加えて報告できます。1時間に満たない専門能力開発は、申請の対象外とします。

※ IIBA日本支部からのご注意：

IIBA日本支部で主催するセミナーや説明会のうち、CDUを明記していないものは、この時間に充当できません。

5.5 推薦状要件

応募者の上司、クライアント（内部、外部）または CBAP[®]資格保有者のいずれかによる2通の推薦状があること。

さらに、次の要件が必要です。

- 現在のコンタクト先1名を含まなければならない。
- 応募者と知り合って6ヵ月未満の者を推薦者とすることはできない。
- 上司の定義は、応募者の年間の業績評価を行う責任をもつ者とする。
- プロジェクトマネジャーを推薦者とすることはできない。ただし、応募者の上司である場合は除く。その場合は、推薦状に両方の役割を果たしていることを明記すること。記載がない場合は、その推薦状は無効になる。
- 出願審査の対象となる推薦状は2通だけである。
- 応募者の責任において、期日までに確実に推薦状を提出しなければならない。推薦状は、受験日を考慮して、また、必要に応じて推薦者へのフォローアップを行ったうえで、余裕をもって提出する。

6.0 CCBA[®]の出願と試験の流れ

ステップ1：CCBA[®]認定に出願し、出願料を支払う

ステップ2：受験料を支払う

ステップ3：受験登録を行う

ステップ4：試験の準備をする

ステップ5：試験を受ける

各種費用一覧

出願料と受験料

費用の種別	IIBA会員	非会員
出願料（返金不可）	125米ドル	125米ドル
受験料（英語、日本語）	325米ドル	450米ドル

その他の費用

費用の種別	IIBA会員	非会員
受験キャンセル料(CBT試験の場合)*	50米ドル	50米ドル
再受験料 (英語、日本語)	250米ドル	375米ドル

注意：

1. どの費用も支払いは米ドルで行う。カナダ居住者またはGST/HST登録者には、GST/HST（物品サービス税）が加算される。
2. 出願料は、出願が受理された場合であろうと、あるいは監査の条件付きで出願が受理された場合であろうと、また出願の監査が通らない場合であろうと、いかなる場合も返金されない。
3. 手数料が追加で発生する場合がある（この後の節で説明する）。
4. 小切手または国際為替で支払う場合、下記宛先まで送付する。

Certification
701 Rossland Road East, Suite 356
Whitby, ON Canada L1N 9K3

5. 受験キャンセル料は、**CBT Locations**のWebサイトの指示に従って支払うこと。

機密情報の保護

IIBAでは、CCBA®認定の出願書類と試験成績、その他CCBA®認定プログラムに関わるすべての情報を、機密情報として取り扱います。応募者の同意なしに第三者に情報を公開することはありません。

第三者に対して試験の成績証明書を発行することを要請する場合は、どの成績を公開するかとともに、公開先の個人または組織を指定して、IIBAに文書で要請する必要があります。IIBAの機密保護ポリシーに対する違反は、懲戒処分の対象となります。IIBA規約でこれを規定しています。

公開を必要とする場合は、www.iiba.orgに記載された宛先までご請求ください。

IIBAが応募者に対して負う他のいかなる守秘義務にもかかわらず、応募者の出願料もしくは受験料が第三者（“スポンサー”）によって支払われた場合、応募者は、IIBAがそのスポンサーに機密情報を開示することを、撤回不能の形で認め指示することとします。

6.1 ステップ1：CCBA®認定に出願し、出願料を支払う

CCBA®資格保有者となるためのプロセスは、次のとおりです。

1. 出願の資格要件を満たしていることを確認する。
2. オンラインで、CCBA®出願フォームに入力する
3. 応募者がCCBA®資格保有者にふさわしいことを証明できる2人の専門家を推薦者として決める。オンライン出願システムが推薦者に自動的に電子メールを送信し、出願システムにログインして推薦状の処理を完了するように推薦者に要請する。
4. CCBA®の行動規範を順守することに同意する。これは、オンラインの出願手続きに組み込まれている。
5. オンライン出願の画面の内容を控えとして印刷する。
6. 次のものを提出（送信）する。
 - a. オンライン出願フォーム記入内容一式
 - b. 出願料
IIBAの会員・非会員を問わず、どの応募者も、出願料は**125米ドル**である（カナダ居住者にはGST/HST（物品サービス税）を加算）。出願料は、オンライン出願の画面を通じてオンラインで支払うか、“IIBA”宛に小切手または国際為替を送付する。出願が受理された場合であろうと、あるいは監査の条件付きで出願が受理された場合であろうと、また出願の監査が通らない場合であろうと、いかなる場合も出願料は返金されない。
7. IIBAにより支払いが処理されると、出願の受理あるいは監査の条件付きでの出願の受理を通知する電子メールが届く。
8. 監査の条件付きで出願が受理された場合
 - a. 業務の連絡先および推薦者を通して情報の正当性が速やかに確認されると、出願の監査は1ヵ月以内に完了する。監査に通れば出願は受理され、受験に向けた次のステップに進むことができる。もし監査に通らなければ、その理由に関する情報が電子メールで届き、出願は受理されない。
 - b. 応募者は、監査に通らなかった理由を修正した後、CCBA®認定に再度出願できる。また応募者は出願の監査に通らなかったことについて、認定機関の決定に異議を申し立ててもよい。出願の異議申し立ての方法は certification@iiba.org へ電子メールを送ることにより入手できる。
9. 出願が受理された場合、応募者は、出願が受理されてCCBA®試験の受験資格を得たことを通知する電子メールを受領した日から1年以内に、CCBA®試験に合格しなければならない。受験資格が失効しないように、応募者の責任において注意すること。

6.2 ステップ2：受験料を支払う

英語および日本語での受験料は、**IIBA会員が325米ドル、IIBA非会員が450米ドル**です（カナダ居住者はGST/HSTが加算されます）。

会員料金での支払いは、応募者が出願時に会員である場合に限りです。それ以外の場合は、非会員料金を支払ってください。

受験料は試験を受験する代金であり、試験に合格しなかった場合でも、受験料は返金しません。

試験の言語

現在、CCBA[®]試験は英語と日本語で受験可能です。ただし、英語以外の言語（つまり日本語）で受験を希望する場合は、オンライン出願フォームを提出（送信）する前に、出願フォームで言語を選択してください。あるいは受験料を支払うとき、そして必ず受験日をオンラインで登録する前に、certification@iiba.org宛に電子メールでご連絡ください。

注意：希望した言語で受験できるように、自身の責任で確実に手配してください。

英語以外の言語で受験を希望することをIIBAに連絡しない場合は、英語で受験することになります。受験日の登録後に言語の変更を希望する場合は、本ドキュメントおよびIIBAのWebサイトに記載したキャンセルポリシーに従ってください。言語の変更をIIBAに適切に申し出ないと、受験料をすべて没収され、希望する言語での受験に変更するためにIIBAに再度受験料を支払わなければなりません。

特別措置

身体障害その他の理由により試験を受ける能力に問題がある場合は、CCBA[®]試験の実施手続きに対して特例を申し出ることができます。この要請は妥当なものであることが必要で、CCBA[®]試験の正当性や信頼性を損ねるものであってはなりません。

受験に際して特別な措置が必要な場合は、以下と共に、できる限り速やかにcertification@iiba.orgまで電子メールでご連絡ください。

- 会場への到着、試験の読み書き、あるいは試験に必要なその他の関連スキルを著しく妨げる身体障害について特定すること
- 特別措置の必要性を裏付けるために、適切なヘルスケア専門家からの文書を提供すること

特別措置の要望の受理を知らせる電子メールがIIBAより届くまで、受験料の支払いや受験日の登録は行わないでください。

受験料の支払いには次の方法があります。

- a. IIBAのWebサイトのショッピングカートを通してオンラインで支払う。
- b. 小切手または国際為替で支払う場合は、宛名を“IIBA”とし、本章のはじめに記載したIIBAの所在地宛に送付する。送り状（インボイス）を記入のうえ、同封すること。

IIBAはカナダの企業です。本ガイドに記載した以外の手数料や料金をIIBAから徴収することはありません。ただし、応募者がカナダ以外に居住している場合には、追加の費用が発生する場合があります。こうした費用は、使用したクレジットカードの発行会社によって計算され、徴収され、保管されるため、IIBAが返金することはできません。費用は米ドルで課金され、クレジットカード会社が応募者の居住地の通貨に変換します。

6.3 ステップ3：受験登録を行う

受験料がIIBAに受理された後は、次の手順で受験日の登録を行います。

- テストセンターの一覧は、CBT Locations(コンピュータ試験開催地)を参照すること。
- 受験者はIIBAのWebサイトの**CBT Locations**の説明に従って受験を登録しなければならない。登録は、受験料の支払い確認メールを受領するとすぐにプロメトリックを通じて行える。受験者には登録から1営業日以内に登録確認通知の電子メールが届く。登録確認通知の電子メールが届かない場合、プロメトリックのWebサイトに記載された電話番号に連絡する前に、受験者はスパムフォルダを確認すること。
- なお登録の際、受験者はEligibility ID(有資格ID)を入力する必要がある。Eligibility IDを調べるには、IIBAのWebサイト（www.iiba.org）のMy Profile欄から、ユーザー名とパスワードを入力してログインする。Eligibility IDはProfile欄に掲載されたIIBAのIDである。

6.4 ステップ4：試験の準備をする

以下は、CCBA®試験の対策に関するIIBAからのアドバイスです。ただし、このアドバイスに従うことが試験合格を保証するものではないことにご留意ください。

- IIBAのBABOK®ガイドを見直す。
- コミュニティ・ネットワークのオンライン・ライブラリでBABOK® Leaning Guideを見直す。
- IIBAのWebサイト上のFAQを見直す。

- IIBAのWebサイト上で推薦しているリソースを見直す。
- 必要に応じて教育・研修を受ける。
- 日々の業務の中で、**BABOK**®ガイドに従ってタスクを実践する機会を見つける。
- ビジネスアナリシスに関するメンターを見つける。
- 研究会に参加する。
- ローカルのIIBA支部ミーティングに出席する。
- 入手できる学習参考書を見直す。

CCBA®試験の時間は3.5時間で、4つの選択肢の中から解答する多項選択式の問題が150問出題されます。「全般的な知識を問う問題」（たとえば、定義や基礎知識など）と、「状況分析問題」（たとえば、あるシナリオのもとではどのような行動が最適かを問う問題）とがあります。後者の場合、応募者が答えに到達するには多少の分析が必要になります。特定の種類の問題だけが出題されることなく、Blooms分類（訳注：試験問題の分類法）の範囲を網羅しています。

CCBA®試験の出題配分は、**BABOK**®ガイドVersion 2.0に添って下表のような配分になっています。

知識エリア	出題の割合
ビジネスアナリシスの計画とモニタリング	20%
引き出し	13.33%
要求のマネジメントとコミュニケーション	16%
エンタープライズアナリシス	15.33%
要求アナリシス	19.33%
ソリューションのアセスメントと妥当性確認	16%

上記の出題の割合には丸め誤差があるため、合計しても100%にはならないことにご注意ください。

6.5 ステップ5：試験を受ける

CCBA®認定プロセスの最終ステップは、応募者がCCBA®試験を受験して合格することです。CCBA®試験は、**BABOK**®ガイドに基づいた総合的な最終試験であり、ビジネスアナリシスに関する知識を客観的に測定して評価するように作成されています。

試験当日の手続き

1. 定刻に到着すること。集合時刻は受験登録の確認メールに記載されている
2. 試験会場では、次のものを提示すること

- a. 確認メール
- b. 本人確認書類 (ID) の要件：テストセンターに到着時に、本人確認のため、公的機関発行で有効期限内の、写真と署名のある本人確認書類を1点提示する必要がある。プライマリIDの形式は、署名と最近の写真入りの、有効な（失効していない）ものでなければならない。詳細は、後述する受付可能な本人確認書類の種類を参照のこと。

重要

- 本人確認書類の名前は、受験登録の確認メールに記載された名前と完全に同一でなければならない。またIIBAのオンライン出願に使用した名前とも同一でなければならない。

受験登録の確認メールを受け取った後で、必要とされる本人確認書類の名前を変更する場合、自己の責任でIIBAに速やかに連絡すること。これによりテストセンターは変更について事前に通知を受けることができる。IIBAへ事前に通知されない場合、テストセンターはその本人確認書類を受け付けできず、結果的に受験予定日に受験できなくなる。この場合、受験日を再設定するには、IIBAに100米ドル（カナダ居住者にはGST/HSTが加算される）を支払わなければならない。

- 試験監督員がコンピュータに接続した後、2分以内に自分の名前と試験名を確認する。

2分以内に回答しない場合、あるいは確認画面に同意しない（すなわち「いいえ」を選択した）場合は、試験が終了し、再び試験に戻ることができずに採点される。この場合、受験日を再設定するには、IIBAに100米ドル（カナダ居住者にはGST/HSTが加算される）を支払わなければならない。

- 自分の名前と試験名を確認した後、2分以内にNDA（秘密保持契約）画面に同意する。この画面は試験名および名前の確認画面の後に表示される。

2分以内に回答しない場合、あるいはNDA画面に同意しない（すなわち「いいえ」を選択した）場合は、試験が終了し、再び試験に戻ることができずに採点される。この場合、受験日を再設定するには、IIBAに100米ドル（カナダ居住者にはGST/HSTが加算される）を支払わなければならない。

受付可能な本人確認書類の種類

受付可能なプライマリIDの形式は以下に限られます。

- 写真付き、署名入りの、有効な（失効していない）運転免許証
- 州または政府発行の写真付き、署名入りの身分証明書
- 写真付き、署名入りの有効なパスポート
- 写真付き、署名入りの国民IDカード
- 写真付き、署名入りの軍人IDカード

写真と署名の両方を備えた上記のプライマリIDを1点提示できない場合、以下の有効な（失効していない）IDを2点提示しなければなりません。そのうちの1点は最近の写真付きで、別の1点は署名入りでなければなりません。

- 有効な運転免許証
- 軍人IDカード
- 国民IDカード
- 有効なパスポート
- 学生証
- 州または地域発行のIDカード

受け付けできない本人確認書類の例

- 有効期限切れの運転免許証やパスポート
- 徴兵等級カード
- 公証人が作成した身分証明書
- ソーシャルセキュリティカード、国民ID番号
- あらゆる種類のクレジットカードおよびキャッシュカード
- 社員証

市民権のある国以外で受験する場合は、有効なパスポートを提示しなければなりません。

署名のないプライマリIDを提示する場合、有効な署名を確認できる第2の形式を提示しなければならない。適切な本人確認書類がなければ受験は認められず、受験料も返金されません。

※IIBA日本支部からのご注意

日本の運転免許証には署名（サイン）がないため、単独では本人確認書類となりません。日本のプロメトリックの試験会場で受験する場合は、本人確認書類として下記のいずれかをご持参ください。

- ①パスポート
- ②運転免許証と署名付きクレジットカード（または署名付きの銀行カード）
- ③写真付き住民基本台帳カードと署名付きクレジットカード（または署名付きの銀行カード）

試験結果の通知

CBT試験の場合は、試験終了後すぐに得点がわかります。応募者が解答を送信した後、数分以内に画面で結果を確認できます。

不合格だった応募者には、結果の画面に、注意を要する知識エリアに対するガイダンスが表示されます。不合格だった場合、出願が受理されて受験資格を得たことを通知する電子メールを受領した日から1年以内に1度に限り再受験できます。ただし、最終受験日から3ヵ月間は、再受験できません。

CCBA[®]試験に合格すると、応募者はCCBA[®]として認定され、CCBA[®]資格保有者となります。

受験キャンセルポリシー

受験をキャンセルする、あるいは受験日を変更する必要がある場合は、次のキャンセルポリシーを適用します。

- キャンセルおよび変更はプロメトリックのオンライン登録システムを通して行わなければならない。
- 受験日の30日以上前にキャンセルする場合、キャンセル料は発生しない。
- 受験日の5日前から29日前にキャンセルする場合は、プロメトリックにキャンセル料または変更料として50米ドルを支払う必要がある。
- 受験日の5日前を過ぎてキャンセルする場合、あるいは予定の試験に出席できない場合、あるいは予定の開始時刻に15分以上遅れて到着し、入場を断られた場合、支払った受験料（すなわち325米ドルまたは450米ドル）は返金されない。さらに受験日を変更するために、IIBAに受験料全額を支払わなければならない。

7.0 CCBA[®]認定の授与

CCBA[®]試験に合格した応募者は、CCBA[®]として認定され、CCBA[®]資格保有者となります。さらに次のことが行われます。

- 合格した応募者には、翌月の初めにIIBAから電子メールが届く。たとえば4月15日に試験に合格した応募者には、5月の第1週にIIBAからの電子メールが届く。この電子メールは、受験結果を確認するとともに、合格者のためのLinkedInグループやCCBA[®]ロゴ取得のための標準ガイドが紹介されている。

- この電子メールには、合格者に後日送付される認定キット（証明書と証明カード）の案内も記載されている。このキットは試験に合格した翌月中旬に作成されカナダより発送される。たとえば4月15日に試験に合格した場合、キットは5月15日に発送される。
- 全CCBA[®]合格者の一覧をIIBAのWebサイトに公開する。合格者の氏名、住所（市、行政区・州・準州）、および認定日を掲載する。この一覧は毎日更新される。

8.0 CCBA[®]試験の再受験

CCBA[®]試験に合格できなかった応募者は、出願書類の受理を通知する電子メールを受領した日から1年以内に、1度に限り再受験できます。ただし、最終受験日から3ヵ月間は再受験できません。さらに次のことにご注意ください。

- 英語および日本語での再受験料は、IIBA会員は250米ドル、IIBA非会員が375米ドルである（カナダ居住者はGST/HSTを加算）。
- 会員料金での支払いは、応募者が受験料送付時に会員である場合に限る。それ以外の場合は、非会員料金を支払う。
- 受験料は試験を受験する代金であり、試験に合格しなかった場合でも返金されない。
- 1年以内に受験して合格しない場合は、再出願が必要になる（出願料と受験料の全額支払いが必要になる）。

9.0 CCBA[®]認定の維持と資格更新

すべてのCCBA[®]資格保有者は、認定を維持するために、能力維持の要件を満たす必要があります。能力維持は、認定プログラムの品質を示す重要なベンチマーク項目の1つです。CCBA[®]認定は、3年ごとに更新しなければなりません。

“CCBA[®] Recertification Handbook”（『CCBA[®] 資格更新ハンドブック』）およびCCBA[®]の資格更新に関する書類は、IIBAのWebサイトで公開中です。

連絡先情報の更新

連絡先の情報（電子メールアドレスなど）に変更があった場合、応募者の責任において、IIBAのWebサイトwww.iiba.orgの Profileを更新してください。連絡先の情報を更新しなかった場合、情報が伝達できないことになります。

注意：IIBAからの電子メール連絡が、不注意によりブロックされたり、スパムフィルタがスパムメールフォルダに振り分けてしまうことがあります。資格保有者は、certification@iiba.orgを電子メールプログラムの個人アドレス帳に登録して、IIBAからの、特に認定チームからの認定プログラムに関する重要なメッセージを確実に受け取ることができるようにしてください。

10.0 CCBA®認定の停止または取消し

IIBA 認定機関では、職業上の不正行為またはCCBA®ロゴの不正使用の報告を受けた場合、これを確認した後、CCBA®認定を任意の時期に取り消す権利を有します。さらに、認定後に監査を任意に実施する権利も有します。認定が停止または取り消された場合、支払い済みのいかなる料金も返金しません。認定取消しを受けたCCBA®資格保有者は、一定期間はCCBA®認定に再出願できません。

11.0 応募者と CCBA®資格保有者の情報に対する監査

応募者およびCCBA®資格保有者は、IIBA認定機関から、出願書類に記載した情報の正当性を確認する要求を受けることがあります。応募者およびCCBA®資格保有者の責任において、出願書類に記載した情報を証明できるものを用意して提示してください。

12.0 異議申し立ておよび苦情への対応

CCBA®資格保有者およびCCBA®認定応募者は、IIBA認定機関の行動や審査結果、または決定に異議がある場合、見直しを要求できます。IIBAは、異議申し立てや苦情を調査して、その対応を通知します。詳しくは、certification@iiba.orgまでお問い合わせください。